

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	コンピュータリテラシー		
英文授業科目名	Computer Literacy		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-		
開講学科・専攻	システム工学科		
担当教官名	西 康晴		
居室	西5-701		

公開E-Mail	授業関連Webページ
nishi@se.uec.ac.jp	http://blues.se.uec.ac.jp/lecture.html

【主題および達成目標】
<p>コンピュータの利用方法を習得し、コンピュータを利用して得た情報の解釈について学びます。</p> <p>デジタルネットワークインフラが整備され、コンピュータの利用技術は計算や文書処理からコミュニケーション手段を包含した情報処理に広がってきています。そこで本授業では、コンピュータシステムの基本事項を理解することに加え、コンピュータを積極的に活用することで、ネットワーク社会における情報の生成・共有・伝達・解釈ができるようになることを目的とします。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし。

【教科書等】
参考書：渡辺成良・若月光夫・織田健 / 共著「UNIXコンピュータリテラシー（第2版）」（共立出版）

【授業内容とその進め方】

授業ではUNIXのマルチウィンドウ環境を利用し、Web教材の自習と演習を行います。そのため、自分のペースで理解を深めることができるでしょう。また個別学習を支援する体制として、授業担当教官の他に、数人のTeaching Assistant(TA)が皆さんの疑問を解消するお手伝いをします。内容は以下の通りです。

- 1 システムを利用する前に
- 2 システム利用の基本事項・文書の編集
- 3 ファイル・日本語入力
- 4 電子メール
- 5 UNIXの基本コマンド
- 6 UNIXのプロセス
- 7 ディレクトリによるファイル管理
- 8 ファイルの共用・保護
- 9 コンピュータネットワーク
- 10 ネットニュース
- 11 環境設定
- 12 LaTeX
- 13 復習・参考

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

a) 評価方法：

・ 期末試験および演習・宿題の結果を、次のように総合評価する。

- レポート 70%

- 期末試験 30%

(b) 評価基準：

電気通信大学 平成20年度シラバス

- ・以下の到達レベルをもって最低達成基準とする。
 - UNIXの基本的利用法を習得していること
 - 講義の目的を理解していること
 - 授業にすべて出席していること（教官に欠席の許可を受けた場合を除く）
 - 基本課題のレポートがすべて受理されていること

【オフィスアワー：授業相談】

質問などは随時受けつけています。まずはメールで相談してください。

【学生へのメッセージ】

コンピュータが普及し、多くの1年生はコンピュータを使った経験があるでしょう。しかし、UNIXを使ったことはありますか？またコンピュータを利用して得られた情報に振り回されていませんか？この授業では、皆が初心者です。大学における学習や研究において必要となる最も基本的な事柄について学びます。積極的に学習に取り組み、確実に自分のものにして下さい。

【その他】